令和３年９月29日

辟雍会通信 No.6

〒184-8501
東京都小金井市貫井北町 4-1-1
東京学芸大学辟雍会
hekiyou@u-gakugei.ac.jp

ご 挨 拶

東京都などでは緊急事態宣言が続いていましたが，皆様お変わりなくお過ごしのことと思います。

大学の秋学期は10月15日から始まりますが，その前に今も，教育実習が行われています。教育実習は，在校時の忘れ得ぬ思い出の一つではないでしょうか。今号では，緊急事態宣言下での教育実習についてご紹介します。

ワクチン接種が進み，早く新型コロナ感染症が収束することを祈ります。皆様，どうぞ十分ご自愛ください。

辟雍会会長　長谷川　正

コロナ禍における教育実習

昨年来のコロナ禍により，様々な教育活動は影響を受けましたが，附属学校園の使命の一つが教育実習でもあるため，いかに安全安心を確保しつつ，例年通りに近い形で実習を実施するか，ということが各附属学校園のテーマとなりました。

基本的な取り組みについては，附属学校園によってそれぞれ異なります。個別の比較検討は避けますが，大きなポイントとしては，次のようないくつかの点で，対応のバリエーションを特色づけられると思います。

一つは実習生と子どもの密をどう回避するかです。とくに実習生の出勤を，実習期間中全てとするか，半分は出勤，半分はリモートなど分散とするか，です。大泉小では，昨年から実習期間中は全員が出勤し，しかし教室に入るのは３名以下とし，各教室に４，５名が配置されるので，残りの人は廊下から教室内を観察するようにしました。教室内の学生と廊下の学生は，自分たちのタイミングで適宜入れ替わるようにしました。

交代で廊下から観察する実習生

もう一つは出勤時間を児童生徒の登校と合わせるか，あるいは電車バスなどでの密を回避するために，出勤時間を遅らせるか，という点です。これも学校ごとに異なります。

また，給食を教室で食べるかどうかというポイントもあります。大泉小では，各クラスの実習生を日替わりで半分に分け，半分は教室で食べて給食指導も行い，もう半分は別室で食べる，という形をとっています。

休み時間に子どもたちと遊ぶ実習生

休み時間の子どもとの遊びについては，「子どもの成長に遊びは不可欠」という観点から，遊具の使用など一切規制はしていませんが，マスクや手洗いの励行は，しっかりと行っています。

さらに，実習生にリモート授業を行わせるかどうかという論点もあります。来年以降もオンラインによるリモート授業が公立校でも実施されることが考えられるので，教育実習の中でも，あえてリモート授業を経験する，というのも新しい実習の形かと思います。大泉小の場合は，緊急事態宣言下では，水曜日をオンライン学習デーとしています。この日は実習生も出勤せず，自宅でリモート授業に参加したり，リモート授業を実施したりしています。大学生は，授業を受ける側としてはリモート授業に慣れていますが，授業実施者としてリモート授業を経験すると，新たな気付きもたくさんあるそうです。

学芸大学では，昨年度も今年度もリモート授業が中心なので，学生たちは他人と顔を合わせて会話する機会が激減しています。そのため，教育実習で学校に来られることが，とても楽しみになっていたようで，例年に比べて実習生の遅刻や欠勤は激減していると言えるでしょう。

昨年度と今年度の違いとしては，インド株が流行してからの大学生や若年層の感染実態が増大しているので，保護者も大学生が校内に入ることに対して，昨年よりは少し敏感になっているようです。今年度は，学芸大が実習生の自宅にＰＣＲ検査のキットを事前に郵送し，事前に陰性を確認し，また体温も正常で安定しているなど，十分な安心材料を持って実習に臨むようにしました。

昨今，多くの学生が１，２年時の教職の授業で，教職経験者の先生などから，教職の困難さをたくさん聞かされて，２年生の終わりごろには，教職志望をあきらめるという実態があります。そうすると，教員採用率が低下し，文科省からの運営交付金が減少するという悪循環になるので，卒業生の皆様には，ぜひ在校生が目を輝かせて教職への意欲を年々高められるようなサポートを，引き続きぜひ，よろしくお願い申し上げる次第です。

（学校心理教室教授・附属大泉小学校校長　杉森伸吉）

News　構内の老木伐採

写真１は，現在の本部棟前の景色です。以前とどこが変わったか分かりますか。写真２の桜の風景は，春に撮った本部棟前の写真です。老朽化が進んだ桜の木が伐採されました。さっぱりして倒木の危険はなくなりましたが，さびしく感じます。

写真１
本部棟前

写真２

支部便り